

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和3年12月16日

事業所名: ハビネス国際放課後等児童デイサービス

公表: 令和3年12月27日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11	0		
	② 職員の配置数は適切である	11	0		
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	10	1	階段、トイレには手摺が設置されている。階段には滑り止めが貼ってある。	バリアフリーになっていないので車いす利用の子どもも受け入れが難しいのが現状である
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加している	11	0	毎朝ミーティングでの申し送り、毎月の職員会議にて意見を出し合っている	
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	11	0		
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	11	0		
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	11	0		
適切な支援の提供	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	2	毎月の職員会議での勉強会、外部研修に参加している	外部研修の参加者は会議等で報告し、全員が周知できるようにし、支援の質を高めるよう努めているが、全ての職員が外部研修に参加できるような体制を整えるべきである。
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	11	0		
	⑩ 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10	1		関係機関の発達検査の結果等の情報も提供してもらい、発達状況を把握し達成目標に向けた支援計画に生かしていく
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っている	11	0	前日の様子、1週間の様子などを合わせて内容確認をしている。	集中力を養う活動やコミュニケーション能力の向上を図るような活動プログラムを取り入れていく
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	11	0	個別でセラピーを取り入れ、発達に応じた心理教育を行っている	発達に応じた療育方法を心掛け支援していく
	⑬ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	10	1	発達に応じて、個別・集団活動を組み合わせ支援計画書を作成している	集団・社会での適応性の課題にも対応していく
	⑭ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11	0	打ち合わせで気になっている事を話し支援に必要な活動アイテムを作って工夫している。	
	⑮ 支援終了後は、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	11	0	職員の間で個々の気になったことを話し記録に残し、保護者に連絡している。	日々の気づきは記録し、改善に繋げていく
	⑯ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11	0	リトムを活用し、日々の記録を記入している	記録方法について細かな気づきも踏まえて記録できるよう指導員の知識向上にも努めていく
	⑰ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	11	0	6ヶ月毎のモニタリング、その他必要に応じてモニタリングを行い、見直しの必要性を判断している	
⑱ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	11	0			



	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑲ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	11	0	児童発達支援管理責任者と担当者などの適任者が参加している	職員間での情報共有に努めていく
	⑳ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	11	0		現在在籍児童はいないが、必要に応じて連携した支援を行っている
	㉑ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	10	1		保護者からの情報提供のみなので、関係機関との情報共有と相互理解ができるよう働きかけが必要である
	㉒ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	11	0	専門機関の助言を基にして活動プログラムの作成をしている。	
	㉓ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	10	1		放課後児童クラブや児童館との交流はないので活動する機会ができればよい
	㉔ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	6		
	㉕ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11	0	家庭内での問題を共有し問題を子どもの発達に合わせて進めている。	今後も共通理解に努めていく
	㉖ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	11	0	課題に対して子どもに、どう対応していくかを支援している。	ご家庭、事業所共に同じ方向性で支援していくように努める
	㉗ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11	0		
	㉘ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11	0	相談援助、相談支援を行っている	事業所内だけでなく、家庭内の話をする事で保護者の支援もしている。
保護者への説明責任等	㉙ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	5		現在は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催していない。
	㉚ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	11	0		
	㉛ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	11	0	活動の様子など写真を用いて発信し、連絡事項等の情報も発信している	
	㉜ 個人情報に十分注意している	11	0		
	㉝ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11	0	意思疎通ができない子どもには見守りを強化し、声かけをしている。	今後も障がいの特性を理解し、配慮していく
	㉞ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	8	要望があれば、見学等が可能な体制を整えている	地域との交流がほとんどないため、今後はそういった運営ができればよい。
	㉟ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	11	0	マニュアルについて対応方法の確認を行っている	状況に応じた対応や周知・訓練については改善に努める
	㊱ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	11	0	年2回、避難ルートを変更しての訓練を行っている	
	㊲ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11	0	外部の研修に参加したり、職員会議にて周知している	各研修に参加積極的に参加していけるように対応していく
	㊳ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	11	0	対象児童がいる場合、保護者に説明、了解を得た上で個別支援計画に記載しており、解除までの経過観察・再検討記録もしている。	子どもの心身状態や課題について相互理解に努め、解除に向けての共通理解を図っていく
非常時等の対応	㊴ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10	1	対象児童がいる場合、保護者に説明、了解を得た上で個別支援計画に記載しており、解除までの経過観察・再検討記録もしている。	子どもの心身状態や課題について相互理解に努め、解除に向けての共通理解を図っていく
	㊵ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11	0	事例があった場合、報告書に記載し、職員会議にてヒヤリハット検証を実施し、事故防止へと繋げている	今後も職員で情報共有し、事故防止に努めていく

【事業所における自己評価集計結果グラフ】

